



## 「生きる」ためのがんの痛み治療

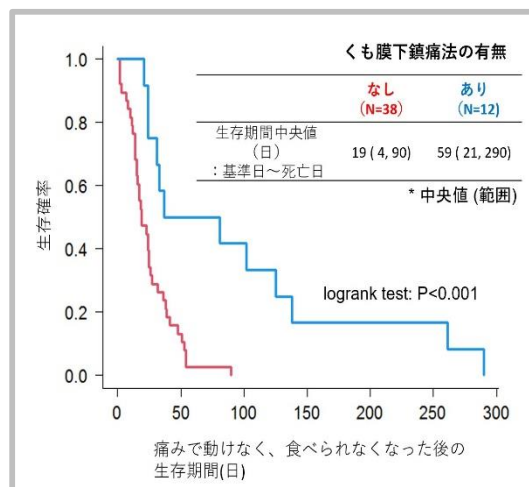
麻酔科 原賀 勇壮

「痛み」は癌の末期には約7割の患者さんが主な症状として訴える位に多い症状です。飲み薬や張り薬、注射や坐薬などで対応し、医療用の麻薬を使用する事もあります。しかし、一般的なWHO方式では管理が難しい場合が、20-30%程度もおられます。

痛みの管理が難しい時、医療用の麻薬を増やすのですが、眠気や吐き気、便秘といった副作用の懸念が出ます。副作用対策のお薬が増えて、薬でお腹いっぱいでは食事が食べられないと本末転倒です。眠気で会話中も眠ってしまう程だとやりたい事、すべき事をするための「生きる」時間が損なわれます。

抗がん剤の効果や癌の病態の変化で痛みが軽くなる事もあります。でもそうでない時、薬での加療だけでなく、WHOは放射線治療やペインクリニックでのブロック治療という選択肢も勧めています。いずれも痛みの「原因の再評価」とか治療中の「姿勢」やじっとしている事が求められるので痛みの治療の早期からのご紹介が重要です。目安はオピオイド開始や増量、変更の時期です。

2022年の厚労省の指導に基づき、がん診療拠点病院である当院は難治性疼痛に対する神経ブロックが出来る体制である事をホームページで公表しています。福岡県のがん拠点病院のうち、難治性疼痛に対する神経ブロックが出来る日本ペインクリニック指定研修施設かつ緩和ケア科・病棟を有する唯一の病院ですので、難治性の癌性疼痛でお困りの院内外の患者さんに、必要な神経ブロックを実施する事をこれまで以上に求められる状況となりました。関係各所と鋭意努力を続け、「がん」の患者さんが、病と向き合い、よりよく人生を「生きて」いただけるように、一層、高いレベルのがんの痛み治療をご提供できるべく、努力を続ける所存です。



## ★外来・病棟の医師体制について

大場、神代、原賀の三人の医師が緩和ケアセンター外来、緩和ケア病棟を担当し、協力して切れ目のない医療を提供していきます。

### 令和5年度 緩和ケアセンター外来担当表

月		火		水		木		金		予約	内線番号	
午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		受付	診察室
神代	大場	大場	原賀	大場	神代	大場		大場	神代	【完全予約制】 内線 6989	6655 2410	6655 2410

通常、本館4階③番での受付となります。